

乾康代さんへ 小さな村での壮大な挑戦―廃炉とジェンダー平等実現を応援します！

2021年8月6日。それは今から76年前に人類史上最初の原子爆弾が広島に投下された日でした。一瞬にして広島は壊滅し多くの命を奪い、その後も被爆した多くの人々が苦しんでいます。その8月6日に、乾康代さんは、日本で最初の原子力発電を設置した東海村村長選挙に立候補されました。

“清水の舞台から飛び降りた”という乾さんの人生をかけた大決断に、私たちはどれだけ励まされ、その勇氣に感動したでしょう。研究者・教育者として生きてこられた乾さんが、ご自身の良心にしたがって、新たな道に踏み出したのですから。

2018年にそれまでの研究の成果の一部を『原発都市 歪められた都市開発の未来』にまとめられました。そこでは人間の生活環境の近くに立地してはならない原発が立地できた元になる「東海モデル」が描かれ、さらに廃炉後の道筋にも触れています。

東海村第二原発再稼働に反対し、また村政にジェンダー平等の民主主義を吹き込もうという明快なメッセージは、いずれの課題も私たちそれぞれが住む地域にとって、痛切な課題です。勿論“村”というもっとも人々の身近な基礎自治体には、高齢化に伴い福祉・医療・教育や子育て・住まい・まちづくり・環境等の課題があります。その根幹に、原発を廃炉にする政策を根幹に据え、ジェンダー平等に基づいて政策を組み立てるという自治体のモデルになるでしょう。

そして、廃炉後の展望を示せる乾さんこそが立候補する意味はとても大きいと思います。日本の原子力行政を変え、再生可能エネルギーへの転換することができるかどうかを、4万人足らずの小さな“村”で実現するという壮大な挑戦です。

だからこそ、原発を推進しようとする勢力は、総力をあげてつかみかかるでしょう。政策も理念も正しくても、勝つとは限らないのが現代の政治であり、選挙です。

また、原発産業に依存してきた人々の中には思い悩む人も多いかと思います。こうした村民の方々に真に豊かな東海村の未来を託せる乾さんを、私たちは知恵を絞って応援します。新建建築家技術者集団の仲間には、日本の原発を無くしたいと思う多くのメンバーがおり、政策提言のできる人も沢山います。ジェンダーについては、東京支部の50周年を機に、緩いかたちですがジェンダーチームが発足しました。支援できることをやっていこうと思っています。必要なことがあれば遠慮なく言ってください。

酷暑の中の選挙戦です。何よりも何よりも健康には十分に気を付けて。光輝く優しい笑顔の乾さんの勝利の日を願って！

2021年8月
新建ジェンダーチーム有志